

年 組 名前：

問1

しょうがくせい どうぶつ いりょう  
小学生が動物への医療を

たいけん ひら  
体験するイベントが開かれました。

かつどう りかい  
どのような活動の理解を

ふか おこな  
深めるために行われましたか。

.....  
.....  
.....

問2

クラウドファンディングでの

しえんきん もくひょうきんがく  
支援金の目標金額は、

いくらですか。

.....円

問3

どうぶつえん どうぶつよう なに  
動物園に、動物用ポータブルレントゲンがあると、何ができるようになりますか。

.....

問4

どうぶつえん たいけん なに  
あなたは、動物園でなにか体験できるとしたら、何をしたいですか。

.....  
.....

# 小学生「獣医さん」に



甲府市立動物園で5日、小学生が動物への医療を体験するイベントが開かれた。動物用のポータブルレントゲンを寄付するための活動に取り組んでいる甲府青年会議所（興石義章理事長）が、活動への理解を深める場として企画。17人の小学生が参加した。  
〈斎藤裕介〉

## 甲府JC。ポニーの検温体験

子どもたちは秋山多江園長らからポータブルレントゲンでヤギの脚を撮影する様子を再現してもらい、けがや病気の発見には欠かせない機器であることを学んだ。ポニーの検温を体験した昭和・常永小5年の小沢真愛さん（10）は「動物向けの医療の大切さがよく分かった。レントゲンを届けて、長生きさせてあげたい」と話した。  
甲府青年会議所によると、動物の体内を日ごろから確認  
ポニーの検温を体験する小学生  
甲府市立動物園

(2022年6月6日付 山梨日日新聞 20面)

できるポータブルレントゲンが市立動物園にないことから、クラウドファンディングで支援金を募っている。支援の目標金額は500万円。今月末を期限とし、5日時点で450万円を超える寄付が集まった。目標を達成した場合、別の医療機器も寄付する予定という。  
クラウドファンディングサイトのアドレスは<https://readfor.jp/projects/amanomiyako>（＝QRコード参照）